

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 9 月 7 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【アフリカのビジネスウーマンと横浜女性起業家のワークショップの様子】

アフリカのビジネスウーマンに横浜の女性活躍・起業支援施策を紹介しました

7月28日にアフリカ5か国のビジネスウーマン（女性企業家）・関係政府職員16名が横浜を訪問しました。

横浜市とJICAとの連携による研修事業「日・アフリカビジネスウーマン交流プログラム」の一環として、横浜市における女性の活躍・起業支援の施策を紹介するとともに、市内女性起業家等との意見交換等の交流を行いました。



渡辺巧教副市長及び日本アフリカ友好横浜市会議員連盟の佐藤祐文会長と市役所での面会後に、横浜の女性活躍支援施策としてスタートアップシェアオフィス「F-SUS よこはま」や経験豊富な先輩女性起業家等によるアドバイスを受けられるメンター事業、「女性起業UPルーム」などの取り組みを紹介しました。

ワークショップでは、横浜の女性とアフリカからの参加者が互いの経験を共有し、それを踏まえてどのような支援が必要なのか、活発な意見交換が行われました。

マレーシア・セベランプライ市のまちづくりプロジェクトに横浜が協力しています

横浜市は JICA 草の根技術協力事業として、横浜の都市デザインをモデルにしたマレーシア・セベランプライ市のまちづくりプロジェクトに取り組んでいます。



8月14日～18日にかけてセベランプライ市に今年第3回目となる専門家派遣を行い、派遣団はブキマタジャン地区の都市デザインの策定に向けた現地調査及び関係者との協議を行いました。

外国人のおもてなしや異文化理解の促進に取り組む市民活動を支援します

国際局は、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、多文化共生による創造的社會を実現していくため、「来訪外国人のおもてなし促進」、「異文化理解の促進」、「在住外国人の活躍推進」に関

する、市民団体やNPO法人の活動への支援を開始します。

この事業により、両大会開催のレガシーとして、横浜ビジョンに掲げる多文化共生を尊重するまちづくりに繋げていきます。応募方法などの詳細は国際局HPをご覧ください。(9月29日)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/multiculture/tabunkaho.jokin.html>

都筑区とボツワナ共和国との交流事業を行います

今年9月に、都筑区民ホールにてカナガワビエンナーレのコラボ企画として、ボツワナ交流児童画展アーカイブ展を開催するほか、11月3日の都筑区民まつりでは、昨年も好評だったボツワナ大使館ブースの出店を予定するなど、今年度も様々な交流事業を実施します。



これに先立ち、7月31日に、畑澤都筑区長がボツワナ共和国大使館を訪問し、6月に着任されたンコロイ新大使とこれまでの交流等について懇談しました。